

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本語Ⅲ-2 (JapaneseⅢ-2) 2011031-023					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)		
科目区分	教養科目 (留学生 科目)	必修・ 選択区 分	必修	単位 数	1	配当年次	3年次	開講期	後期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL								

① 授業のねらい・概要									
日本語能力試験（JLPT）N1に合格することを目指す。 卒業論文やレポートを書くために必要となる読解力と作文力の養成に力を入れる。 N1レベルの語彙を習得する。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
状況によって、試験のやり方が変わる。詳しいことは試験の前に説明する。 毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストを行う。 授業の前：次の授業にそなえて準備しておくこと。 授業の後：授業の内容を確認すること。 教室では、母語や英語を使わず、日本語で話すこと。 授業はすべて日本語で行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
日本事情1、日本事情2、日本語Ⅰ-1、日本語Ⅰ-2、日本語Ⅱ-1、日本語Ⅱ-2を履修しておくことが望ましい。 日本語Ⅲ-1を必ず履修すること。									
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安									
(i) 日本語能力試験（JLPT）N1レベルの読解や語彙や文法の問題が、授業でやった範囲内であれば90%以上得点できた。 (ii) 身近な社会問題に対し、自分の意見（理由も含めて）を準備し、原稿を見ずに流暢に発表できた。 (iii) 身近な社会問題に対し、ネイティブチェックが無くても、自分の意見（理由も含めて）を適切な構成で800～1000字にまとめ、おおよそ意味が通るように書けた。									
⑥ テキスト（教科書）									
福岡理恵子他（2011）『新完全マスター読解 日本語能力試験N1』スリーエーネットワーク									
⑦ 参考図書・指定図書									
友松悦子他（2010年）『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク									

二通信子、佐藤不二子（2020年）『新訂版留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク
 日本語能力試験問題研究会（2011年）『日本語能力試験直前対策 N1 文字・語彙・文法』国書刊行会
 伊能 裕晃他（2011年）『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N1』スリーエーネットワーク
 ABK 財団法人 アジア学生文化協会（2014年）『TRY! 日本語能力試験 N1 文法から伸ばす日本語』アスク

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N1 レベルの読解や語彙や文法の問題が解ける。	授業でやった範囲を超えて、N1 レベルの読解等の問題で 80% 以上得点できた。	授業でやった範囲内の N1 レベルの読解等の問題で、90% 以上得点できた。	授業でやった範囲内の N1 レベルの読解等の問題で、75～89% 得点できた。	授業でやった範囲内の N1 レベルの読解等の問題で、60～74% 得点できた。	授業でやった範囲内の N1 レベルの読解等の問題で、60% 以上得点できなかった。
(ii) 身近な社会問題に対し、自分の意見を理由も含めて述べられる。	身近な社会問題に対する自分の意見(理由も含む)を、原稿を見ずに流暢に発表でき、質問にも答えられた。	身近な社会問題に対する自分の意見(理由も含む)を、原稿を見ずに流暢に発表できた。	身近な社会問題に対する自分の意見(理由も含む)を、原稿を見ずに発表できたが、流暢ではなかった。	原稿を見ながらであれば、身近な社会問題に対する自分の意見(理由も含む)を流暢に発表できた。	原稿を見ながらであっても、身近な社会問題に対する自分の意見(理由も含む)を流暢に発表できなかった。
(iii) 身近な社会問題に対する自分の意見を、理由も含めて適切な構成で書ける。	ネイティブチェックが無くても、テーマに対する自分の意見(理由も含む)を、適切な構成で、おおよそ意味が通るように、1000 字以上書けた。	ネイティブチェックが無くても、テーマに対する自分の意見(理由も含む)を、適切な構成で 800～1000 字にまとめ、おおよそ意味が通るように書けた。	テーマに対する自分の意見(理由も含む)を 800～1000 字で書けたが、構成や表現についてネイティブチェックを 1 回受けなければならなかった。	テーマに対する自分の意見(理由も含む)を 500～800 字で書けたが、構成や表現についてネイティブチェックを 1 回以上受けなければならなかった。	テーマに対する自分の意見(理由も含む)を 500 字以上書けず、構成や表現についてもネイティブチェックを 2 回以上受けなければならなかった。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%	10%	15%		15%	15%		100%

(i) 日本語能力試験 (JLPT) N1 レベルの読解や語彙や文 法の問題が解ける。	45%	10%				5%		60%
(ii) 身近な社会問題に対し、自 分の意見を理由も含めて 述べられる。					15%	5%		20%
(iii) 身近な社会問題に対する 自分の意見を、理由も含め て適切な構成で書ける。			15%			5%		20%
フィードバックの方法	スピーチ原稿は添削して返します。小テストは採点して返します。							

⑩ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
積極的に授業に参加してください。 授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間 (分) (※特別な持参物)	
1	情報を探し出す③ お知らせ	2 分間のやや長い自己紹介を準備しておく。春休 みについて発表できるように準備しておく。	60 分
2	情報を探し出す④ 説明書き	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指 示されたところを予習しておく。 スピーチ 1 の準備をしておく。	90 分
3	情報を探し出す⑤ 表・リスト	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指 示されたところを予習しておく。 スピーチ 1 の準備をしておく。	90 分
4	実戦問題 1 内容理解 (中文) ①	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指 示されたところを予習しておく。 スピーチ 1 の準備をしておく。	90 分
5	実戦問題 2 内容理解 (中文) ②	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指 示されたところを予習しておく。 スピーチ 1 の準備をしておく。	90 分
6	実戦問題 3 内容理解 (長文) ①	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指 示されたところを予習しておく。 スピーチ 1 の準備をしておく。	90 分
7	実戦問題 4 内容理解 (長文) ②	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指 示されたところを予習しておく。 スピーチ 1 の準備をしておく。	90 分
8	実戦問題 5 内容理解 (長文) ③ スピーチ 1	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指 示されたところを予習しておく。	60 分

9	実戦問題 6 主張理解 (長文) ①	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。 スピーチ 2 の準備をしておく。	90 分
10	実戦問題 7 主張理解 (長文) ②	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。 スピーチ 2 の準備をしておく。	90 分
11	実戦問題 8 主張理解 (長文) ③	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。 スピーチ発表 2 の準備をしておく。	90 分
12	実戦問題 9 統合理解①	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。 スピーチ発表 2 の準備をしておく。	90 分
13	実戦問題 10 統合理解②	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。 スピーチ発表 2 の準備をしておく。	90 分
14	実戦問題 11 情報検索①	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。 スピーチ発表 2 の準備をしておく。	90 分
15	実戦問題 12 情報検索② スピーチ 2	前の週の授業内容を復習しておく。前の週に指示されたところを予習しておく。	60 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL、協同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性